

## 質問

# 学力調査結果と本町の教育は

## 教育長

読解力をつけ学力向上を



おおがき てるこ  
大垣 照子 議員

## 質問

文部科学省は、R6年度の全国学力テストの調査結果を公表し、3年前より全国的に全教科で大幅な成績低下となり、識者や文科省は、深刻な状況で確認作業が必要と。本県も同

じく低下傾向で中学3年の国語では、理論的な意見を書く力が不足し、県教委は授業改善や評価問題作成に力を入れるとしている。学力低下の原因をどう考えるか。

教育長 保護者への調査で学校外での勉強時間の減少、テレビゲーム、スマホ使用時間の増加や家庭環境の変化等が、学力育成に影響を及ぼす一因ではないかと考えている。

## 質問

家庭学習の減少とメディア利用を指摘されたが、本町の結果はどうだったか。

教育長 小学校の国語は、県平均を上回り全国平均より下、算数は県平均を上回り全国平均と同等、理科は県・全国の平均を上回った。中学校の国語は県・全国平均を上回り、数学は県平均を上回り、全国平均よりやや下回り、理科は県・全国平均スコアを上回った。

質問 本町の正答率は何か。

教育長 小学校の理科は全国平均の1.9プラス、算数は同じ、中学校の国語は6割回答で全国より高い数字。文科省は

、正答率を9割と予想したが、実際には50数%で、特に文章問題の回答が非常に少なく、県は達人テストを導入する方針。

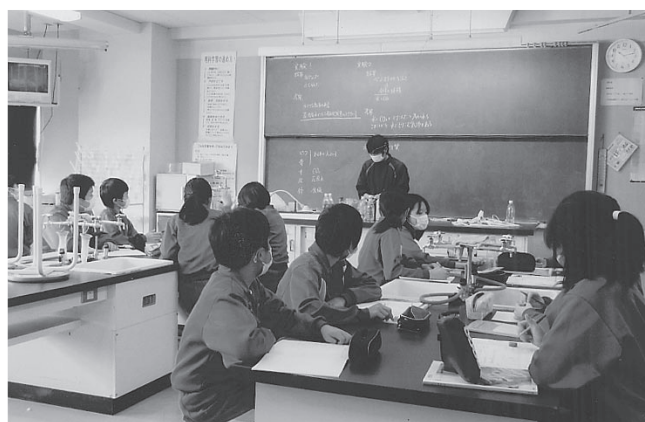
## 質問

50〜60%はいい数字ではない。スマホやゲーム利用の増加、勉強時間や読書の減少、知識を得る力の衰え等、勉強に向かう姿勢が大きく揺らいでいる。教育とデジタル化をどう考えるか。

教育長 デジタル化の影響が大きく読書による異体験や、考える力を得ることで今後の学力向上につながると思われる。

## その他の質問

町財政の公会計化  
公営住宅問題



勉強は生きていくために大事 家庭学習もしっかりしよう